

(作成年月日) 2023年3月25日

## 消化器内科に、過去に通院・入院された患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和4年3月10日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

### [研究課題名]

造影剤アレルギー・慢性腎不全を併存する肝細胞癌患者に対して炭酸ガス造影による肝動脈化学塞栓療法の有用性についての後ろ向き研究

### [研究の目的]

通常、肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓療法の際にはヨード造影剤を使用して肝臓の中の血管を確認しながら治療を行います。ヨード造影剤の副作用にはアレルギーや腎機能低下があり、造影剤アレルギーおよび慢性腎不全のため、通常のヨード造影剤使用できない肝細胞癌患者さんに対して、代わりに炭酸ガス造影による肝動脈化学塞栓療法を行い、その安全性と治療効果、予後を調査します。

### [研究の方法]

対象となる患者さん

2011年1月1日から2023年12月31日の間に、当院で肝細胞癌と診断され、炭酸ガス造影による肝動脈化学塞栓療法を受けた患者さんが対象です。

利用する検体・診療情報

診療情報：年齢、性別、血液検査結果、臨床病期

### [研究組織]

香川大学医学部附属病院消化器内科 大浦杏子 消化器内科 助教(学内講師)

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

### [連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院消化器内科 担当医師 大浦杏子

電話 087-891-5111 FAX 087-891-2158